

令和2年度 広島支部事業実施状況について（中間報告）

(1) 業務グループ

1. サービススタンダードの推進

令和2年度 KPI	実績		
	令和2年度 (9月末)	令和元年度	<参考> 令和元年度 全国平均
100%	100% ◎	99.99%	99.92%

- ・健康保険給付金（傷病手当金・出産手当金・出産育児一時金・埋葬料（費））について、申請受付から振込までを10営業日以内に完了させることをサービススタンダードとして定め、100%の達成を目指す。

2. 現金給付の適正化の推進

- ・保険給付の適正化に向け、不正請求等の疑義のある現金給付の申請について、支部プロジェクトチーム会議（2か月に1回開催）で事業所への立入調査等の対応策を検討した。

※ 令和2年度上期においては、立入調査が必要な疑義案件はなかった。

【参考】令和元年度の立入調査は、出産手当金に関するもの1件、傷病手当金に関するもの1件の合計2件であった。

3. 柔道整復師の施術にかかる給付適正化の取組

令和2年度 KPI	実績		
	令和2年度（9月末）	令和元年度	<参考> 令和元年度 全国平均
0.54%以下	0.56% ○	0.54%	1.12%

施術箇所3部位以上、かつ月15日以上
の施術の申請の割合
※対前年度以下とする

●接骨院等の受診者への施術状況照会文書の送付

- 柔整審査会で不正疑義のあった施術所の利用者（特に、3部位負傷、1か月あたり15日以上施術を受けている者）に対し、施術状況を文書にて照会し、回答された負傷原因や負傷部位等と申請書内容との整合性を確認した。

令和2年度上期 照会実績・・・1,740件（令和元年度実績 4,009件）

●新型コロナウイルスの影響

- 支給決定件数、支給金額ともに対前年度比で減少している。

【令和2年度上期の支給決定状況（対前年比）】

支給件数：117,561件（▲12.7%）

支給額：467,331,000円（▲11.2%）

4. 限度額適用認定証の利用促進

令和2年度 KPI	実績		
	令和2年度（9月末）	令和元年度	<参考> 令和元年度 全国平均
86.5%	82.9% △	85.0%	81.2%

高額療養費制度に占める限度額
適用認定証の使用割合

●医療機関等への申請書の設置

- 加入者への広報や医療機関及び自治体（市町）での申請書設置により、限度額適用認定証の利用促進を図り、加入者の医療機関窓口での自己負担軽減を図る。

限度額適用認定証交付件数16,922件のうち、5,810件（34.5%）が設置した申請書を利用した。

5. 現金給付等の申請に係る郵送化率の向上

令和2年度 KPI	実績		
	令和2年度 (9月末)	令和元年度	<参考> 令和元年度 全国平均
92.0%	90.9% △	88.2%	90.9%

	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	令和2年度上期
窓口受付件数	1,847	877	1,326	1,515	1,384	1,535	8,484
郵送化率	89.1%	93.1%	91.8%	90.2%	90.8%	90.3%	90.9%

●新型コロナウイルスの影響

- ・5～6月の窓口受付は大幅に減った（郵送による申請が増えた）。

6. 被扶養者資格の再確認の徹底

令和2年度 KPI	実績		
	令和2年度	令和元年度	<参考> 令和元年度 全国平均
92.0%	- %	91.7%	91.3%

被扶養者資格の確認対象事業所からの
確認書の提出率

- ・医療費及び高齢者医療制度への支援金等の適正化を目的に、被扶養者が、現在も資格を充足しているかの再確認を実施している。

【実施期間】 令和2年10月～令和2年11月 （提出期限 令和2年11月30日）

【対象事業所数】 32,038事業所

※参考（令和元年度）

対象事業所数 : 34,766事業所（広島支部）

被扶養者削除数 : 1,378人（広島支部） 66,193人（全国）

高齢者医療制度への負担軽減額 : 約15億円

(2) レセプトグループ

1. 債権回収の取組

令和2年度 KPI	実績		
	令和2年度 (10月末)	令和元年度	<参考> 令和2年度 全国平均
63.16%以上	51.32% ◎	63.16%	332.97%

返納金（資格喪失後受診に係るものに限る）の回収率
 ※対前年度以上とする

令和2年度 債権発生・回収状況 (R2.4~10月) 金額ベース (単位: 千円)							
	期首残高	新規発生	取消・消滅	回収	残	回収率	回収率 (R元年度同期)
返納金	151,541	141,375	16,623	116,932	159,361	42.32%	36.89%
損害賠償金	319,595	322,040	43,962	130,338	467,335	21.80%	26.01%

●主な債権発生理由

◀返納金▶

- ・健康保険資格喪失後に健康保険証を使用したことによる医療費支出分 ・健康保険診療にかかる一部負担金の相違（差額請求）
- ・現金給付にかかる給付調整分（傷病手当金と年金の調整）や資格喪失後給付となった返納分
- ・保険医療機関にかかる厚生局指導に伴う保険請求返納分 ・労働災害該当に伴う保険診療不該当分の返納 など

◀損害賠償金▶

- ・第三者からの交通事故や暴行などにより負傷した加入者の保険診療や現金給付にかかる健康保険給付分の賠償請求 など

●早期回収に向けた取組

- ・通知1か月後に催告状を送付した（保険者間調整案内同封）。
- ・弁護士名による催告状を送付した（月約100件）。
- ・電話催告を実施した（月約1,000件）。
- ・訪問催告を実施した（月約20件）。
- ・法的対応を実施した（件数右掲載）。

	支払督促	強制執行（差押による収納）
令和2年度 (10月末)	20件 △	14件 ○
令和元年度	77件	32件
平成30年度	72件	32件

●返納金の保険者間振替の実施状況（令和2年度上期）

- ・国保→協会けんぽへの支払・・・140件 29,390,371円（令和元年度上期：124件 17,621,662円）
- ・協会けんぽ→国保への支払・・・772件 65,715,176円（令和元年度上期：614件 29,080,942円）

2. 債権発生防止の取組（保険証回収）

令和2年度 KPI	実績		
	令和2年度（10月末）	令和元年度	<参考> 令和元年度 全国平均
95.00%	92.36% △	93.04%	93.08%

日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率

※最終的な保険証回収率は「97.8%」（全国98.0%）

- ・早期（資格喪失処理後2週間以内）の保険証回収催告状を送付した（5,476件）。
- ・回収不能届を活用した電話催告を実施した（299件）。
- ・無資格受診発生の事業所へ文書による保険証回収促進を実施した（387社）。
- ・広報物へ保険証適正利用の案内掲載を実施した。・外国人労働者向け多言語（英/中/越）チラシを作成した。

3. 効果的なレセプト点検の推進

令和2年度 KPI	実績		
	令和2年度（8月末）	令和元年度	<参考> 令和2年度 全国平均（8月末）
0.289%以上	0.251% △ (基金0.182+協会0.069)	0.289% (基金0.217+協会0.071)	0.304% (基金0.221+協会0.084)

社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率
(実績値は令和2年8月時点)
※対前年度以上とする

●内容点検

- ・システムを活用した効率的な点検の推進、外部講師による研修会、個別面談を通じて点検員のスキルアップを図った。
- ・目標未達の要因：点検員の欠員／ベテランの入れ替えによる新人が増加した。
支払基金による一次審査の深化、支払基金及び医療機関のレセプト請求審査事務のシステム高度化等により、査定に繋がる事案が減少した（請求の適正化）。（基金側の1次査定も減少傾向）

(単位:千円)

査定効果額	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	10,251	9,298	6,773	8,395	11,898	8,181	9,598	8,197	10,580	11,293	10,878	10,270	115,619
令和2年度	11,476	9,265	11,165	8,566	7,388	5,719	12,408	16,091					82,082

●資格点検

- ・速やかな資格点検による過誤レセプト返戻と債権調定を実施した。（点検件数年間約10万件・債権調定約5,000件）

●外傷点検

- ・外傷性疾病の負傷原因照会などにより、求償対象の有無を確認した。（照会件数年間約5,000件・債権調定約800件）

●新型コロナウイルスの影響

- ・内容点検員の休業により、査定効果額が減少した。・資格点検時の医療機関照会自粛により、調定件数が増加した。

(3) 保健グループ

1. 健診実施率向上の取組

		令和2年度 KPI	実績			令和2年度対象者
			令和2年度	令和元年度	<参考> 令和2年度 全国平均	
被保険者	生活習慣病予防健診	54.0%	18.3% △	52.4%	17.7%	438,693人
	事業者健診	9.71%	2.2% △	7.9%	2.4%	
被扶養者	特定健診	34.5%	4.2% △	24.0%	5.2%	116,692人

※生活習慣病予防健診および特定健診は8月受診分まで、事業者健診は9月取込み分までの実績

●事業者健診結果データの取得への取組

- ・広島県、広島労働局、協会けんぽの3者連名による事業者健診結果データの提供依頼を文書および電話にて実施している。
(9月～12月までに674件実施予定) 9月に実施した210件のうち、30件が事業者健診結果データ提供に必要な同意書の取得につながった。

●被扶養者の集団健診の実施状況

- ・9月に集団健診を3回開催し、312人が受診した。1回あたりの受診者数は、平均104人と令和元年度の平均62人より増加した。

●新型コロナウイルスの影響

- ・被保険者の受診者数は、4,5月は前年比50%程度に落ち込んだものの、6月以降は前年比90%程度まで回復している。
- ・被扶養者向けの集団健診は、8月まで実施を見合わせた。

2. 特定保健指導実施率向上の取組

令和2年度 KPI	実績		
	令和2年度（9月末）	令和元年度	<参考> 令和2年度 全国平均
21.5%	19.7% △	17.6%	20.5%

※特定保健指導
40～74歳の健診受診者で、健診結果によりメタボリックシンドローム予備群または該当者となっている方に対して実施する保健指導。

		令和2年度（10月末）			令和元年度（参考）		
		対象者数	終了者数	特定保健指導実施率	対象者数	終了者数	特定保健指導実施率
被保険者（本人）	協会けんぽ	25,103	3,191	12.7%	57,300	7,324	12.3%
	外部委託機関		1,711	6.8%		2,892	4.8%
被扶養者（家族）		410	123	30.0%	2,441	320	0.5%
合計		25,513	5,025	19.7%	59,741	10,536	17.6%

●遠隔面談での保健指導の実施

- ・コロナ禍における保健指導として、遠隔面談での保健指導の利用勧奨を実施し、90名の初回面談につながった。

●新型コロナウイルスの影響

- ・協会けんぽ指導者の休業、健診機関の営業自粛、集団健診の実施見合わせにより、上期の初回面談実施数が低調となった。
- ・健診受診者数の減少に伴い、特定保健指導対象者数（分母）が減少している。下期の終了者数（分子）は、上期の初回面談者数の影響を受けることから、実施率低下が予想される。

3. 未治療者の医療機関受診率向上の取組

令和2年度 KPI	実績		
	令和2年度（9月末）	令和元年度	<参考> 令和2年度 全国平均
12.9%	11.8% △	10.4%	10.8%

※未治療者の医療機関受診率
健診の結果、血圧値or血糖値が要医療に該当し、健診から3か月以内の医療機関受診がない方に対し、健診受診から6か月後に受診勧奨通知を送付し、送付から3か月以内の医療機関受診率

- ・健診の結果、治療が必要と判断された方を確実に医療につなげるため、健診機関からの結果通知に紹介状等を同封する。
※生活習慣病予防健診実施機関88機関中37機関（受診総数のうち約70%を網羅）で実施中。
- ・健診受診から3か月以内の医療機関受診がない方に対して、文書勧奨を実施する。
また、その中でも健診結果がより重症域にある方については、個別に電話等による勧奨を実施する。

(4) 企画総務グループ

1. 健康経営推進への取組

●ひろしま企業健康宣言へのエントリー状況

- ・令和2年度宣言事業所数目標：累計1,752事業所（年間300事業所の増加）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度（11月末）	
			実績	目標との差異
宣言事業所数	1,010	1,452	<u>1,574</u> △	<u>▲178</u>
認定事業所数	260	421	<u>677</u>	

●ラジオでのPRの実施

- ・RCCラジオ「おひるーな」の「おひるーなプラス！」のコーナーへ神田支部長が電話出演し、健康経営およびひろしま企業健康宣言のPRを実施した（令和2年5月13日）。

●令和2年度ひろしま企業健康宣言認定の実施

- ・ひろしま企業健康宣言事業所に対して令和元年度の取組状況の報告に基づき、認定基準を充足した事業所をひろしま企業健康宣言認定事業所として認定証を送付した。
【認定事業所数】677事業所

●「広島県健康経営優良企業表彰制度」の創設

- ・ひろしま企業健康宣言認定事業所のうち、特に健康経営に積極的かつ継続的に実施している事業所を広島県知事が表彰する。県内事業所に健康経営の考え方を広く浸透していくための機運を醸成し、実践事業所数を増加することを目的とし、令和2年度に創設。推薦事業所を協会けんぽが選定し、広島県が主催する審査委員会において表彰事業所を決定する。
【表彰時期】令和3年1月（予定）

●「ひろしま企業健康宣言通信」のリニューアル

- ・ひろしま企業健康宣言事業所に対して、健康づくりに関する情報や、事業所の取組事例等を提供する。令和元年度に創刊した広報物を今年度から季刊誌「い・ろ・か（ひろしま企業健康宣言通信）」（全24ページの冊子）としてリニューアルし、年4回、健康宣言事業所に送付する。
【発行月】令和2年10月（秋号）

●新型コロナウイルスの影響

- ・ひろしま企業健康宣言へのエントリー勧奨（訪問、電話、文書等）の実施見合わせにより、新規エントリー数が低調に推移している。
- ・健康経営セミナーの開催を見合わせた。

2. 健康保険委員の委嘱状況

令和2年度 KPI	実績		
	令和2年度（9月末）	令和元年度	<参考> 令和2年度 全国平均
56.9%	56.4% △	56.3%	43.6%

全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合

●健康保険委員の委嘱状況

- ・令和2年度健康保険委員数目標：5,850名

	平成30年度	令和元年度	令和2年度（9月末）	
			実績	目標との差異
委嘱数	5,154	5,476	5,495 △	▲355

●「健康保険委員の部屋」の開設

- ・健康づくりや申請書の書き方等の情報提供を行うために、広島支部HP内に新たなコーナー「健康保険委員の部屋」を設けた。

●新型コロナウイルスの影響

- ・健康保険委員登録勧奨（訪問、電話、文書等）の実施見合わせにより、新規登録数が低調に推移している。
- ・研修会の開催を見合わせた。

3. 広報活動を通じた加入者の理解促進

令和2年度 KPI	実績		
	令和2年度上期	令和元年度	<参考> 令和元年度 全国平均
45.4%以上	- %	35.5%	45.6%

各事業や制度等における加入者理解率の平均
 ※対前年度以上とする

●各種ポスターの作製

「保険証の適正使用促進」「健診受診勧奨」「ジェネリック医薬品使用促進」のポスターの掲示を依頼した。

«保険証の適正使用促進» 健康保険委員委嘱事業所 広島県医師会会員 広島県歯科医師会会員 広島県薬剤師会会員	5,265枚（事業所内での掲示を依頼） 2,400枚（医療機関内での掲示を依頼） 1,620枚（医療機関内での掲示を依頼） 1,450枚（薬局内での掲示を依頼）
«健診受診勧奨»	健康保険委員委嘱事業所 5,265枚（事業所内での掲示を依頼）
«ジェネリック医薬品使用促進»	健康保険委員委嘱事業所 5,265枚（事業所内での掲示を依頼） 広島県バス協会 1,000枚（同協会所属の16社の路線バス車内での掲示を依頼）

4. ジェネリック医薬品使用促進の取組

令和2年度 KPI	実績			
	令和2年度（7月末）	KPIとの差異	令和元年度	<参考> 令和2年度 全国平均（7月末）
78.6%	76.7% △	▲1.9%	77.2%	78.5%

● 保険薬局への使用促進協力依頼

- 中国四国厚生局、広島県と連名で保険薬局へ訪問および文書によるジェネリック医薬品使用促進協力依頼を実施した。
【訪問】 8保険薬局（200床以上の病院の門前薬局で、使用割合が低調な保険薬局より選定）
【文書】 630保険薬局（令和2年4月時点で使用割合80%未満の県内保険薬局へ送付）

● プレスリリースの実施

- 広島支部のジェネリック医薬品使用促進の取組について、プレスリリースを実施した（令和2年8月18日）。
【記事掲載】 広島経済レポート（令和2年8月27日号）、経済レポート（令和2年9月1日号）、中国新聞（令和2年10月5日 朝刊）

● 「サンフレッチェ広島版」ジェネリック医薬品希望シールの配布状況

- 「サンフレッチェ広島版」のジェネリック医薬品希望シールを納入告知書同封チラシ等で案内し、希望者へ配布している。
【配布状況】 2,008枚（大版：616枚 小版：1,392枚）

● ジェネリック医薬品取扱い優良薬局の認定・表彰

- ジェネリック医薬品の使用割合が高い薬局について、広島県薬剤師会と連名で認定・表彰行い、薬局の積極的な調剤を促すことを図る。
【認定】 令和2年9月に県内300保険薬局を認定し、優良薬局認定証を交付した。
（認定基準：令和2年3月時点の使用割合が高い上位300保険薬局であること）
【表彰】 令和2年11月に県内2保険薬局を広島県薬剤師会長と当支部の支部長が訪問のうえ表彰を実施した。

● 新型コロナウイルスの影響

- サンフレッチェ広島開催試合でのブース出展を見合わせた。
- 医療機関への使用促進協力依頼を見合わせた。
- 薬剤師向けセミナーの開催を延期とした。

● ジェネリック医薬品使用割合の推移

	平成30年度 (H30.7)	令和元年度 (R1.7)	令和2年度 (R2.7)
全国	73.1%	76.5%	78.5%
広島支部	71.0%	74.6%	76.7%
差異	-2.1%	-1.9%	-1.8%